

第4学年 国語科学習指導案

児童 4年2組 男18名 女12名 計30名
指導者 藤澤 千代子

- 1 単元名 材料の選び方を考えよう
教材名 「アップとルーズで伝える」「四年三組から発信します」 (光村図書 4下)

学習指導要領 第3・4学年「読むこと」

- ・目標 標：「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」
- ・主たる指導事項：「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」 <(1) 読イ>
「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。」 <(1) 読エ>

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、3年上「ありの行列」で段落という概念について学び、段落の中心となる語句や文に注意しながら要点をまとめる学習をしてきた。3年下「すがたをかえる大豆／食べ物 はかせになろう」では、「始め」「中」「終わり」の段落構成をとらえ、自分が興味をもった食べ物について本などで調べてまとめる学習を経験してきている。また、4年上『『かむ』ことの力』では、接続語や文末表現などを手がかりに、段落相互の関係を考え文章の組み立て図に表すことも経験し、「新聞記者になろう」では、社会科見学で情報収集したことを、割り付けを考えながらまとめることも行ってきている。

これらの学習から、接続語の役割について考え、段落の中心になる語や文に気をつけて読んだり、段落を意識しながら文章を書かなければいけないことには気づいてきている。しかし、自分の力で段落の要点をまとめたり、段落相互の関係を的確にとらえ文章構成を考えたりすることができる児童は少ない。また、与えられたり指示されたりしないと、進んで文章を書こうとする意欲が乏しい児童も多いのが現状である。

(2) 教材について

本単元は、二つの教材から構成されている。第一教材「アップとルーズで伝える」で説明文を読み取る学習を行い、第二教材「四年三組から発信します」では、自らが情報発信者となって、情報の収集、選択、発信を体験する。

「アップとルーズで伝える」は、児童にとって身近な「サッカーのテレビ中継」をテーマにした説明文である。普段、無意識に見過ごしている映像のとり方に焦点を当て、「アップ」「ルーズ」という専門用語を具体的に説明している。分かりやすい写真が資料として使われているので、文章や段落と対比させながら読み進めていくことができる。視覚的理解に支えられながら、語句の理解や段落の内容・段落相互のつながりなどを学習することができる教材である。

「四年三組から発信します」の学習では、「アップとルーズで伝える」の内容をふまえて、情報の収集から発信までの活動を行う。集めた情報の中から、相手や目的に合うものを選ぶ力をつけるのに適した教材であると考えられる。

(3) 指導に当たって

本単元では、材料の選び方を考える力をつけさせるために、説明文で読み取った内容を活用して書く活動に生かせるように指導していきたい。

そのために、第1次では、普段見慣れている学校の中の気になる物を調べ、新聞にして発信しようという目的意識をもたせる。そして、「アップとルーズで伝える」の学習を通して、目的に合わせた情報収集・選択の大切さを理解できるようにする。文章を読み取る際には、説明文の構成をとらえさせるために、写真と本文とを対比させながら各段落の中心となる語や文に着目し、

要点をしっかりまとめることができるようにさせたい。その際、「アップ」と「ルーズ」の目的に応じた使い分けも明確に読み取らせたい。また、第2次では、第1次での学習を生かし、校内で調べたい物を決めて、アップやルーズでの写真の撮り方を工夫したり情報収集した物を取捨選択したりすることを行う。グループで工夫しながら分かりやすく新聞に書き表し、発表する学習活動につなげていきたい。

3 指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・伝える目的や相手に応じて、情報の材料や選び方や表現方法が異なっていることに気づき、自分が表現していくときに役立てようとする。

【読むこと】

- ・それぞれの段落が、文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえることができる。 < (1) 読イ >
- ・アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえて読むことができる。 < (1) 読イ >

【書くこと】

- ・取材したことを相手に分かりやすく書くことができる。 < (1) 書ウ >
- ・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり選択したりして書くことができる。 < (1) 書ア >

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。

4 指導計画（17時間） 読む 7時間 書く 10時間

段階	時	学 習 活 動	評 価 規 準
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太田東小学校のひみつ（みんなが知っているようで知らないこと）について話し合う。 ・ 「四年三組から発信します」の始めの部分を読み、太田東小学校のひみつを伝える方法について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの学校にある物について自分たちの力で調べ、新聞にして皆に紹介したいという意欲をもって発言したりしている。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アップとルーズで伝える」を読み、文章の内容を大きくつかむ。 ・ 文章が伝えようとしていることが新聞作りに生かせそうだという見通しをもち、学習計画を立てる。 ・ 新出漢字の練習や、難語句の意味を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アップ」と「ルーズ」に関心をもちながら読み、それらの意味を理解している。 < (1) 読イ >
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真と文章を照らし合わせながら、①②段落を読み、③段落との関係をとらえる。 ・ 「アップ」と「ルーズ」の定義を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アップ」と「ルーズ」の定義を、写真と文章を照らし合わせながら読み取っている。 < (1) 読イ >
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真と文章を照らし合わせながら、④⑤段落を読み、⑥段落との 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アップ」と「ルーズ」の違いを、写真と文章を照らし合わせながら読み取っ

		<ul style="list-style-type: none"> 関係をとらえる。 「アップ」と「ルーズ」の、伝えられることと伝えられないことを読み取る。 	<p>ている。</p> <p>< (1) 読イ ></p>
	5 本時	<ul style="list-style-type: none"> ⑦⑧段落を読み、筆者が伝えたことをとらえる。 実際の新聞を見ることにより、受け手や送り手の気持ちを考え、「アップ」と「ルーズ」の使い分けを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビでも新聞でも、「アップ」と「ルーズ」を使い分けたり、撮った物を選んだりしていることを読み取っている。 <p>< (1) 読イ ></p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の段落構成を図にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。 <p>< (1) 読イ ></p>
第 2 次	7	<ul style="list-style-type: none"> 「四年三組から発信します」を読み、新聞づくりの流れを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「アップとルーズで伝える」から読み取ったことをもとに、知らせたいことを発信する活動に意欲をもっている。 <p>< (1) 読イ ></p>
	8	<ul style="list-style-type: none"> 教科書作例の工夫に気づき、取材の仕方、まとめ方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> メモと作品の差や、相手に応じた工夫に気づいている。 <p>< (1) 書ウ ></p>
	9	<ul style="list-style-type: none"> 取材する物を決め、自分たちのまとめ方のイメージをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 知らせたい太田東小学校のひみつを1つ決め、分かりやすい写真の撮り方をイメージしている。 <p>< (1) 書ウ ></p>
	10 ～ 16	<ul style="list-style-type: none"> 取材する。 写真を撮る。 写真や材料などを選ぶ。 記事を下書きし、グループで読み合う。 清書し、仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の見解も取り入れながら、意欲的に作業している。 相手や意図に応じて、写真や材料を選び、分かりやすくまとめている。 <p>< (1) 書ア ></p>
	17	<ul style="list-style-type: none"> 掲示された作品を見て、工夫点などを話し合う。 コラム「選んで伝える」を読み、単元のまとめをし、情報の選択について感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手や意図に応じた情報の選択について、自分の考えをもち感想を書いている。 <p>< (1) 書ア ></p>

5. 本時の指導

(1) 目標

新聞の写真におけるアップとルーズの使われ方を読み取り、筆者が伝えたかったことについて考えることができる。

(2) 本時の指導に当たって

①対話について

本時の対話は、実際の新聞の写真を見て、「アップ」の写真や「ルーズ」の写真がなぜここで使われたのかを考える際に取り組む。前段落までの学習をふまえ、アップとルーズの長所や目的に応じた使われ方を確認し合うことによって、効果的な写真の使われ方をとらえられるよ

うにしたい。

②学び合いについて

対話の後、学級みんなに自分の考えを伝えるとともに、対話で交流した相手の考えを聞くことにより、自分の考えに自信を深めたり考えが変わったりしたことも伝え合いながら、筆者の考えにせまれるようにしたい。

(3) 展開

段階	時間	学習内容と活動 活動（・） 主発問（○）	指導上の留意点（・）と評価（◎）
見 通 す	5 分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> テレビや新聞で、アップとルーズはどのように使われているのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までに読み取った、アップとルーズの定義やそれぞれの違いを確認し、テレビ映像における工夫を想起させる。 ・ テレビや新聞でのアップとルーズの使い方、最後にまとめていくという見通しをもたせる。 ◎ 課題を理解し、新聞の写真におけるアップとルーズの使い分けを考えようとする意欲がもてたか。
深 め る	3 5 分	3 学習場面を音読する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ⑦⑧段落を一斉音読する。 4 学習課題を解決する。 (1) 実際の新聞を見て、アップとルーズの写真を見比べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アップとルーズを新聞の写真でとらえる。 (2) アップとルーズの写真の良さを考える。 ○ なぜ、ここではアップの写真が使われていて、ここではルーズの写真が使われているのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「受け手が知りたいことは何か」 ・ 「送り手が伝えたいことは何か」 ・ 自分たちで持ち寄った新聞の写真を見比べ、その使い方を考える。 (3) 新聞の写真でもアップとルーズが使われていることについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ アップとルーズの使い分けの理由をノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を意識しながら音読するように指示する。 ・ 教師が提示した2枚の写真を見比べて、アップとルーズのどちらの写真なのかを確認する。 ・ 2枚の写真の良さから、それを掲載した目的についても考えさせるようにする。 ・ 「受け手」「送り手」の意味を確認する。 ・ 実物投影機を使ってアップとルーズの写真を映し、その良さやそれが掲載されている目的について考えさせるようにする。 ◎ アップとルーズの使い分けの理由を、本文と照らし合わせながらノートに書くことができているか。

		<p><対話></p> <p>T：テレビや新聞で、アップとルーズはどのように使われているのでしょうか。隣の人に理由を話して、感想も言いましょ。「私は（ぼくは）、テレビでも新聞でも～から、～ていると思います。だから、～と思いました。」と話しましょ。聞いている人は、自分の考えと比べたり、理由や感想について付け足しをしたりして下さい。</p> <p>A：私は、テレビでも新聞でも、受け手や送り手の目的に合わせているから、アップとルーズを使い分けられていると思います。だから、何台ものカメラを使ったり、たくさんの写真を撮ったりして、工夫しているんだなと思いました。</p> <p>B：ぼくもAさんに似ていて、テレビでも新聞でも、受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えているから、アップとルーズを使っていると思います。だから、テレビ局の人も新聞記者も苦勞しているんだなと思いました。</p> <p>A：Bさんに付け足しで、こんなふうに考えながらアップとルーズを使い分けしていると知ってびっくりしました。</p> <p>B：アップにするかルーズにするかで、伝わり方が違うからおもしろいと思いました。これから、テレビや新聞の写真を、気をつけて見てみようと思いました。</p>	
		<p>(4) 全体で交流する。</p> <p>○ アップとルーズの使われ方を、みんなで話し合いましょ。</p> <p>(5) 課題のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ局の人や新聞記者の苦勞にも触れることができるようにする。 ◎ 新聞の写真と本文とを照らし合わせながら、アップとルーズの使い分けを話すことができているか。
<p>ま と め る</p>	<p>5 分</p>	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ⑦⑧段落を読み、学習の振り返りをする。 <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の学習内容を予告する。

<具体の評価規準と支援>

- A：アップとルーズが使い分けられている理由を、本文と照らし合わせながらまとめ、テレビ局の人や新聞記者の苦勞にも触れる。
- B：アップとルーズが使い分けられている理由を、本文と照らし合わせながらまとめる。
- C児への支援：板書を参考にさせ、文中の言葉にも着目させながら、アップとルーズの使い分けに気づかせるように支援する。

<板書計画>

